

第29回船橋市入札監視委員会議事概要

1. 日 時 平成30年5月16日（水） 午後2時00分～午後4時30分
2. 場 所 市役所本庁舎 6階 入札室
3. 出席者 〈委員〉 片岡委員長・小泉副委員長・宮澤委員
〈事務局〉 石田契約課長・本多契約課長補佐 ほか契約課職員4名
〈工事担当課〉 中村道路部長・井上建築部長・篠田道路建設課長・藤澤建築課長・佐藤道路建設課長補佐・三橋建築課長補佐・岩井建築課長補佐・鈴木建築課副主幹 ほか工事担当課職員1名

4. 概 要

議題1 入札及び契約手続の運用状況等の報告について

平成29年10月1日から平成30年3月31日までの間の入札及び契約手続の運用状況と本市の入札不調の状況について、事務局より報告を行った。

【委員からの意見・質問、それに対する船橋市の回答等】

質問 不調件数について、平成27年度までは減少傾向であったが、平成28年度・平成29年度と増加傾向にある。原因は。

回答 平成28年度から最低制限価格を事後公表にした。全応札者が最低制限価格を下回り不調となった割合は、平成28年度は全体の2.5%、平成29年度は全体の2.2%であり、差し引くと、従来の形の不調は8%前後で推移している。

議題2 抽出事案の説明及び審議について

平成29年度に発注し、同時期に変更契約を行った外壁剥落防止及び屋上防水改修工事7件をまとめて1つの案件とした事案、第2四半期に発注予定であったが第4四半期の発注となった道路改良工事の合計2案件について、抽出委員より抽出理由の説明を行った。

一般競争入札

- 1 外壁剥落防止及び屋上防水改修工事 7件

【委員からの意見・質問、それに対する船橋市の回答等】

質問 同時期に発注した7件のうち、6件について減額の変更契約をしているが、事前の現場調査をどのように行っているのか。

回答 手の届く範囲で目視・打診等によるサンプル調査を行い、それに基づき施工面積をかけて設計している。

質問 減額変更はどのように判明したのか。

- 回答 施工にあたって足場をかけ、全箇所の詳細な調査を行ったところ、当初設計時よりも施工必要箇所が少ないことが判明した。
- 質問 今回の改修工事で次の改修までにどのくらいの期間、改修せずに保てるのか。
- 回答 屋上防水については10年、外壁改修については15年程度保てるよう処置を行っている。
- 意見 今後、もう少し調査の方法を工夫できるのではないか。また、増額の変更契約になる場合は、本当に増額が必要なのかを入念に調査することが重要と思われる。

一般競争入札【総合評価型】

2 市道00-071号線ほか1路線道路改良工事

【委員からの質問、それに対する船橋市の回答等】

- 質問 なぜ当初の予定どおりに発注ができなかったのか。
- 回答 平成28年度に発注した2件の工事で発生した残土を他の工事で流用する調整をしていたが、流用先の工事が遅れたため、平成29年7月に発注できなかった。
- 質問 この現場は複数年に分けて工事を行っているが、なぜ同じ現場で分割して発注しているのか。
- 回答 本路線は、道路延長730m、幅員22mと施工規模が大きいため、数年に分けて工事を行っている。また、用地の取得が済んだ箇所から順次施工を開始している。
- 質問 この案件は1回不調になっているが、なぜか。
- 回答 3者から応札があり、1者が開札前に辞退し、2者が低入札価格調査基準価格を下回ったが調書を提出せず不調となった。

議題3 その他

第30回船橋市入札監視委員会の開催予定は平成30年11月とする。